

Tokyo Kasei Press

学園新聞

第60号

学校法人 渡辺学園
発行 総務部総務課
〒173-8602 東京都板橋区加賀
1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学 大学院
東京家政大学 大学部
東京家政大学 短期大学部
附属女子高等学校・附属女子中学校
附属みどりヶ丘幼稚園

主な内容

- 渡邊辰五郎賞 贈賞式・記念講演会 挙行…1面
- 第26回管理栄養士(国家試験結果発表)…1面
- e-kasei推進室の設置
—新たな学びを支援— ……2面
- ミュージカルにトライ!「Come on smiling」
保育科の底力 ここにあり…2面
- 大学のここが知りたい!!^⑥
ヒューマンライフ支援センター…3面
- 熱中症の予防対策を知っておこう!…3面
- 平成25年度大学院入試日程…4面
- 節電継続にご協力を!…4面

渡邊辰五郎賞 贈賞式・記念講演会 挙行

*第1回受賞者(3名)

- 「渡邊辰五郎賞」大神のりえ氏 インド国際子ども村「ハッピーバリー」代表(昭和49年児童学科卒)
- 「渡邊辰五郎奨励賞」笠岡宜代氏 (独)国立健康・栄養研究所 栄養疫学研究部 食事摂取基準研究室長(平成3年栄養学科卒 平成5年大学院家政学研究科修了)
- 「渡邊辰五郎奨励賞」石川庸子氏 川口市立元郷南小学校教頭(昭和62年児童学科卒)



清水理事長より、笑顔で表彰状を受ける大神氏(右)と笠岡氏(左)

大神氏「この道」「マイウェイ」の2曲を熱唱、参加者を魅了(在学中、フラウエンコール所属)



また、それぞれの活動・研究等が続けられたのは、自分を支え、協力してくれた両親・家族、関係者のお蔭ですと、感謝の気持ちを述べ、この受賞を期にさらなる精進をしていきたいと今後の決意を明らかにしました。

5月10日板橋校舎三本ホールにて、清水理事長・木元学長をはじめ、役員・役職者等が多数列席の上、高柳総務部長の司会により、贈賞式が催されました。清水理事長は、顕彰にあたり「本学園は創立者渡邊辰五郎が唱えた『国家の良母』として、また、本学の建学の精神である『自主自律』に相応しい女性を育てることを目的としています。急速な少子高齢化の時代を乗り越えていくには、特に女性の力が必要であり、今回の受賞者は社会的な活躍を求められ、第1号の受賞者として相応しい方たちであり、表彰できたことが大変嬉しく思います。大神さんらの今後のさらなる活躍を期待したいものです」と述べられました。

次に、木元学長から受賞者3氏の紹介がされた後、続いて、清水理事長から表彰状が、木元学長からメダル・副賞が贈られました。

贈賞式
三本ホール
14:30~
15:00



木元学長よりメダル・副賞を受ける石川氏

記念講演会
三本ホール
15:00~
16:00



受賞の喜びそして新たな決意を語る笠岡氏(右)と石川氏(左)

〔設置の主旨と背景〕
渡辺学園は平成23年度に創立130周年を迎え、日本近代の黎明期である明治時代の偉大な教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、創立130周年を記念して渡邊辰五郎賞を創設しました。創立者である渡邊辰五郎は、明治14年に自ら和洋裁縫伝習所を開設し、その後の東京裁縫女学校、東京女子専門学校に至るまで、一貫して、知徳を涵養し、裁縫を広く教授できる女性を育て、裁縫教授によって女性が身を立てることのできる教育を行ってまいりました。「渡邊辰五郎賞」は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会で活躍するともに貴重な貢献をした卒業生を称えるものです。また、「渡邊辰五郎奨励賞」は、社会での活躍が著しく、今後の活躍が期待され、本学の榮譽を担う卒業生を称えるものです。



引き続き、会場をカフェコクリコ・三本ホールギャラリーに移し、ビューフェスティールのお茶会が行われました。受賞者を囲んで、参加者と和やかに歓談が行われ、最後に高柳総務部長の閉会の言葉により散会となりました。

お茶会
カフェコクリコ・三本ホール
ギャラリー
16:00~
17:00

今年度4月に開設された東京家政大学大学院人間生活学総合研究科の開設記念講演会が、4月26日に百周年記念館3階大会議室にて開催されました。

講演会は、西村人間生活学総合研究科長の総合司会により開会され、木元学長の挨拶に続き、示村悦二郎氏(元大学基準協会(大

自身経験を語る示村氏

大学院 人間生活学総合研究科 開設記念講演会開催

学院改革の状況に関する調査研究委員長(元北陸先端科学技術大学院大学学長、早稲田大学名誉教授、現在、渡辺学園監事)が、「大学院教育に今求められること」と題して、記念講演を行いました。会場には清水理事長をはじめ役員、役職、大学・短大教職員、大学院教員、学生等、大学院に興味ある方が詰め掛け、熱気ある講演会となりました。示村氏は、これまでの自身の経験に基づいて、社会の中で大学教育に求められるものは何か、最近の大学院教育の問題に触れながら、改善策について説明され、また、社会の要請に応じていくつかりとした枠組み、明確な教育理念と目標の設定、質を保証する仕組みの導入等、組織的教育の重要性を説いた。さらに組織的教育を成功させる鍵、ポイントを分かり易く説明され、最後は活発な質疑応答が交わられました。



講演を熱心に聴き入る先生方

第26回管理栄養士(国家試験結果発表)

平成24年3月18日に第26回管理栄養士国家試験が実施され、5月7日に厚生労働省より発表されました。本学の栄養学科管理栄養士専攻(新卒)は、先生方の熱心なご指導と学生の努力により、昨年より0.6%合格率が上回り、好成績を修めました。管理栄養士国家試験対策長の中村信也教授に結果及び今後の動向等について伺いました。

●今年度結果と分析
第26回国家試験の(新卒者)合格率は133名中132名の合格(合格率は99.2%)でした。

関東地方での合格率は女子栄養大学の226名全員合格に次いで第2位でした。全国的には合格率100%の大学は118校中19校(16%)ありましたので、それに次ぐ順位です。一般に受験者数が少ない学校に全員合格が多くなります。合格者数でいうと、最大は九州の中村学園の228名、次いで女子栄養大学の226名、名古屋学芸大学の165名、そして、東京家政大学の132名でした。全国の合格率を見ると、全受験者2万1268名中1万480名合格(49%)。新卒者は7946名受験して7277名合格(91.6%)でした。新卒者の合格率は好調ですが、既卒者は相変わらず厳しい状況にあります。既卒管理栄養士課程者は合格率29%、既卒栄養士課程者は23%でした。家政大学の既卒管理栄養士課程者は21名中9名合格、栄養課程者は84名中22名中31名合格でした。

●今後の動向
今後の管理栄養士国家試験の動向ですが、年々合格者数が増加しているのが気になります。昨年は859名、4名合格者数でしたが、今年度は1万485名です。医師国家試験合格者は本年7688名です。明らかに過多合格者数です。今後、管理栄養士国家試験が難しくなるのは必至で、絞り込みが始まり、五者択二形式の増加や応用問題の困難化などが実行されてゆくでしょう。

●高合格率の秘訣
高合格率の秘訣は、何となくとも栄養学全体の教職員の責任感と使命感が高いことと推察されます。今年も既に国家試験後の反省会と方向決定を行いました。きめ細かな指導と支援で高合格率を維持できるものと自信を高めてきている次第です。

学校側も国家試験への関心は強く、いろいろな後方支援をしてもらっています。今後も学生、栄養学科の教員、職員の三者が一致してゆくこととなります。

99.2%

e-kasei推進室の設置

新たな学びを支援

平成24年4月にe-kasei推進室が設置されました。e-kasei推進室の取り組み・具体的な活動内容等について、室長である新開隆教授(e-kasei推進室長、教育・学生支援センター副所長)に伺いました。

●e-kasei推進室

パソコンの性能向上やスマートフォンとの普及に伴って、情報機器を使った学習の機会が増えています。そのひとつにeラーニングがあります。本学でも多くの教職員のみなさんの努力により、eラーニングシステムが構築され、全学的な利用が進んでいます。

これを機に、本学eラーニングに「e-kasei」の愛称をつけ、学生の新たな学びを支援するため、「e-kasei推進室」が設置されました。

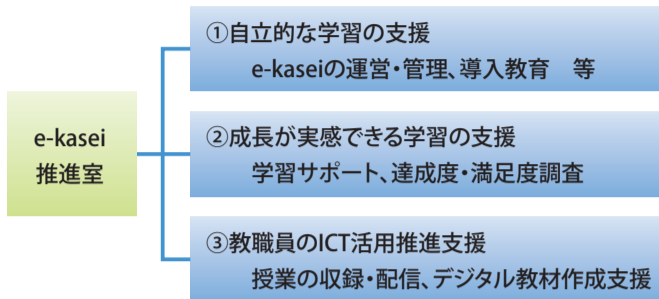
●推進室の取り組み

e-kasei推進室は次の3つの支援に取り組んでいます。
・e-kaseiの運営・管理、導入教育を通じた「自立的な学習」の支援
・学習のサポート、達成度・満足度調査を通じた「成長が実感できる学習」の支援
・授業の収録・配信やデジタル教材作成支援を通じた「教職員のICT活用推進」の支援

●具体的な活動内容

1年生向けに6月から放送大学UPONET教材を用いた「導入教育」を開始しました。

学習を始めるには、本学HPから「在学生の皆さま」のページに入り、「e-kasei」をクリックしてください。ユーザ名、パスワードは学内のメールアドレスと同じです。



充実した学生支援行事

教育・学生支援センター学生支援課では、みなさんの学生生活が充実したものとなるよう年間を通じて、様々な行事を企画しています。

平成24年度学生生活支援行事日程表

名称	開催時期	開催場所	対象者
1 新入生オリエンテーション 学内公認サークル一斉勧誘	平成24年4月4日(水)	多目的ホール16号館 板橋キャンパス	新入生
2 フレッシュマンセミナー	平成24年4月10日(火) 平成24年4月11日(水) いずれか1日学科で選択	板橋キャンパス 狭山キャンパス 各学科・科別	新入生
3 クラス委員会	平成24年5月8日(火) 12:20~13:00	三木ホール	全学年 クラス委員
4 テーブルマナー講座	平成24年6月28日(木) 平成24年11月22日(木)	椿山荘(日本料理) ホテルオークラ (フランス料理)	全学年 各200名募集 応募者多数の場合抽選
5 教養講座	平成24年8月8日(水) 平成25年1月18日(金)	ミュージカル 新春浅草歌舞伎	全学年 ミュージカル200名 歌舞伎150名 応募者多数の場合抽選
6 第52回緑苑祭 「Go to the TKU ~未来に加勢せよ!~」	平成24年10月27日(土) 平成24年10月28日(日)	板橋キャンパス	全学生
7 サークルリーダーズ トレーニング	平成25年2月8日(金) 平成25年2月9日(土) 2日間予定	未定	サークル部長・副部長等
8 学生支援セミナー	*全学生の学部、学科・科、あるいは学年を超えて学生同士が様々な情報を交換でき、発信できる学生を支援することを目的に、年間で行います。 ①学生生活防犯セミナー:平成24年4月19日(木)、120周年記念館多目的ホール、全学生対象、参加自由 ②1人暮らしの自炊・バランスの良いお弁当講座:平成24年5月17日(木)、調理室、全学生対象(24名程度募集、申込制・多数の場合は抽選) ③リーダー養成講座:平成24年9月10日(月)~9月11日(火)、学外施設、全学生対象(35名募集、申込制・多数の場合は抽選) ④普通救命技能認定講習:平成24年12月13日(木)(16号館161C講義室・中体育室、全学生対象(70名募集、申込制・多数の場合は抽選))		
9 卒業パーティー	平成25年3月	各クラスの卒業パーティー委員が決定	卒業学年の全学生

ミュージカルブレイク

「Come on smiling!」



2011年12月24日、クリスマススイブ。保育科2年(新卒者)総勢210名は、多目的ホールに設置されたステージの上で燦然と輝いていた。

9月にスタートした新規科目「保育総合表現」の授業発表会とはいえ、これほどまでに手応えのあるミュージカル作品になるとは考えてもいなかった。就活で一番大変な時期である。学生たちの負担は半端ではなかったはずだ。正直彼女たちの心情を探りながらのスタートであったが、当の本人たちは、そんなことはものともせず情熱をもって稽古に臨んでくれたのである。

2年間の節目として、学



生活の総決算として本授業は位置づけられた。一人はみんなのために、みんなは一人のために!それぞれの学生たちが、自分の価値や存在意義を認識し、豊かなコミュニケーション能力を携えて社会に巣立っていきたくて、大いに期待して複数の教員がこの授業にかかわった。

タイトルは「Come on smiling!」元気をだして!」である。物語は、2011年夏からクリスマススイブにかけての彼女たちのドキキュメントである。夏休み明け、久しぶりの再会に沸き立つ彼女たちは、夏の間の保育実習に一喜一憂していた。そんな折、「保育総合表現」が始まることに。授

物語のプロットは、学生



たちから聞き取った事柄を参考に組み立て、台本の半分は演出部の学生たちが手がけたものである。ダンスナンバーの振付は鴨志田非常勤講師と有志を中心に考案されていた。ミュージカルアンサンブルやコーラス指導は、笹井教授を筆頭に元吹奏楽部や元軽音楽部に元合唱部の有志によって構成された。ステージデザインも井戸准教授、竹本非常勤講師と有志のアイデアによって形作られていった。

私たちは企画外の底力を私ども教員に見せつけてくれたのである。それは決して想定外の出来事ではない。保育科2年生の本領である。Come on smiling! 今頃、彼女たちは声高らかに子どもたちに語りかけていることだろう。自信をもって堂々と。

頑張る! 第6期プロジェクト (嵯越後鶴亀の酒蔵にて)

頑張っています 在学生

第7回食リンピック

12月2日(日)開催!

食リンピックとは、毎年東京家政大学で行われている食育イベントです。五感を使ったゲーム(競技)を通じて食に興味関心を持ってもらうこと、大学と地域の繋がりをもち、親子・友達同士のコミュニケーションの向上などを目的として開催しています。

毎年恒例の競技「はしでママメジャング」は、箸で豆を制限時間内に運ぶゲームで、とても好評です。「食リンピック」という名称は本学の中村信也教授をはじめ、日本食育推進活動支援機構の黛泰次氏、NPO食育推進協会の福田國光氏で商標登録済みです。

第7回食リンピックを、ご期待ください! 大3管士 大熊はるな

大学で開催する食リンピックは「第〇回(回数)」とし、学外で開催する場合は、「食リンピックin〇〇(開催地)」としています。



食リンピックのロゴマーク



第6回目の様子



「やってみよう!!」を応援するヒューマンライフ支援センター

今回は、ヒューマンライフ支援センター(通称ヒューリップ)の内野先生にお話を伺いました。
Q. ヒューマンライフ支援センターは何をする所ですか?
 学生の興味・関心、やってみよう!!をアクションに繋げるお手伝いをしています。大学の学びを活かした活動を社会に発信する橋渡しの場でもあります。

国際交流センター

主な業務は留学プログラムと国際交流行事の企画・実施です。

☆留学プログラム

現在6カ国(アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、韓国)で14の留学プログラムを企画・実施しています。①基礎英語力を身につける短期語学研修②応用力のある英語力を身につける中長期語学研修及び交換留学③本学での専攻分野の知識の幅を広げる専門研修と学生のニーズにあった様々なプログラムを提供しています。また、大学院生向けには「認定海外留学プログラム」を実施しています。昨年度は、160人あまりの学生が留学プログラムに参加しました。

Q. どんな活動をしているのですか?

食育、子育て支援、福祉、デザイン制作という4つの分野を中心とした活動です。
 ●食育: 食育教材の開発、地域・食育イベントへの参加、東武百貨店レストラン街でのメニュー開発、健康関係の冊子へのレシピ提供
 ●子育て: 森のサロン(板橋区とのコラボレーション)、地域の子育てイベント



東武百貨店スパイス 家政大生考案のメニュー



地域の子どもたちが集まる(3歳以下) 1号館2F「森のサロン」

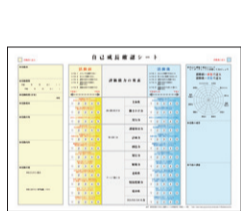
への参加等

●福祉: ピンクリボン運動
 ●乳がん予防運動(女子大生が主体で取り組むのは初!)、障害をもった未就学児の親子支援(わかくさグループ)
 ●デザイン: 会報誌(GREEN LEAVES)作成、学内外のポスター・リーフレットの制作、その他、たくさんさんの取り組みを行っています。今年度はパラリンピック、タイヤーということで障害者へのスポーツ栄養指導(パラリンピック代表選手への食事指導)に力を入れています。今年度はパラリンピック、タイヤーということで障害者へのスポーツ栄養指導(パラリンピック代表選手への食事指導)に力を入れています。今年度はパラリンピック、タイヤーということで障害者へのスポーツ栄養指導(パラリンピック代表選手への食事指導)に力を入れています。

Q. どうやってたら参加できるのですか?

やりたい事が明確に決まっている場合、まずは企画書を持参してください。何かやってみよう!!という具体的なことはわからない人も歓迎です! まずは、本学

のHPからヒューリップに登録をお願いします。いろいろな活動をメール等でお知らせいたします。
学生へのメッセージ
 現在、ヒューリップへの登録率は学生全体の3割程度。もっとたくさんの方に参加してほしいと思っています。みなさんのやる気ひとつで学生生活は充実させることができます。ヒューリップをどんどん活用して大学生活で自主的に行動した経験、「やったぞ!」というキャリアを積み上げ、自信に繋がっていただきたいと思います。その経験は社会に出てからもきつと役に立つでしょう。



Hulipオリジナル 自己成長確認シート

図書館

4・5月にかけて全学生のみなさんに「東京家政大学生のための情報リテラシーテキスト2012」をお届けしています。課題・レポートが多いこの時期、レポート作成で悩んだらこのテキストを開いてみましょう。

まずはレポート対策MAPで作成手順の確認。どの資料を利用するのか、どうやって探すのかなどが一目瞭然! みなさんの疑問に答えてくれるはずですよ。
 さあ、テキスト片手に知識の宝庫図書館へ! カウンターの相談係を始め、図書館では万全の体制でみなさんの学習のサポートをしています。

開館時間の変更

期間を限定し、試行的に開館時間を延長します。来館の際は確認の上ご来館ください。
 夏休みには本を読もう! 休暇中に知識を蓄え、後期の授業に備えましょう。

期間: 7/16(月)~28(日)
 平日: 9:00~20:00
 土曜: 9:00~18:30

レポート・論文で悩んだらこれ!
 東京家政大学生のための情報リテラシーテキスト 2012
 図書・雑誌の探し方がわかる!
 情報検索のポイントがわかる!

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大学	7/17(火)~9/7(金)	5冊	9/21(金)
短大	7/17(火)~8/22(水)	10冊	
大学院	7/17(火)~8/22(水)	10冊	

博物館

この企画展では、十九世紀ヨーロッパのドレスを中心に展示し、「西洋服装史を学ぶということ」について考えてみたいと思います。当時、実際に着用されていたドレスやそのレプリカと合わせて、服飾美術学科の学生が歴史衣装をイメージして制作したイヴニング・ドレス等を紹介いたします。
 ふんわりした袖、広がったスカート、細いウエスト...様々なスタイルのドレスからは、装うことの楽しさや不思議を感じられ、現代ファッションを見直すきっかけにもなることでしょう。ファッションの秋は、ぜひ、博物館へお越しください!
 ※タイトル等は変更になる場合があります。

特別企画展
西洋服装史 - 19世紀ヨーロッパのドレスを中心に
 2012年10月18日(木) → 11月22日(木)

観覧無料
 場所: 百周年記念館5階
 休館日: 日曜・祝日
 時間: 9時30分~17時
 楽しいイベント企画中
 詳細は順次お知らせします。

エンパイア・スタイル	ロマンティック・スタイル	クリノリン・スタイル	パスル・スタイル

すべて東京家政大学蔵

熱中症の予防対策を知っておこう!

保健センター

☆十分な休養と食事を: 翌朝までに体温を正常化する必要があります。帰宅後は夜更かしせず、十分な睡眠と食事をとりましょう。
 ☆水分・塩分補給をこまめに: 0.1%程度の塩分やスポーツドリンクを飲みましょう。
 ☆服装のひと工夫・通気・換気をしよう: 吸湿性や通気性の良い服装や帽子・日傘の活用。部屋の中も風通しを良くしましょう。※室温28℃以上の時は我慢せずに冷房を使用。
 ☆熱中症を予防する栄養&食物: 特に朝ご飯が大事です!

塩分: 汗と共に身体に必要な塩分も一緒に排出されてしまいます。梅干には塩分と、クエン酸が含まれ、熱中症予防に最適。
カリウム: 汗と同時にカリウムも排出され、脱水症状を起こします。バナナ、新鮮なトマト、きゅうり、などの水分の多い夏野菜がおすすめ。
ビタミンB1: 不足すると体内に疲労物質が溜まり、疲れやすくなります。ハム、焼き豚、ウナギ、豚肉、海苔、大豆(乾)などで元気に。
クエン酸: 疲労物質、乳酸の発生を抑えて疲労を回復します。梅干、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、食酢・黒酢などに多い。
ミネラル: 夏の果物、スイカ、桃、メロンも果糖、ミネラルが多く、エネルギー源に。美味しい旬のフルーツもたっぷり摂りましょう。

平成25年度 大学院人間生活学総合研究科入試日程

〈全専攻 1期・2期入試実施、男女共学〉

東京家政大学大学院では、これまでの家政学研究科と文学研究科を、平成24年度から人間生活学総合研究科に改組統合しました。人間生活学総合研究科では、衣・食・健康・福祉から、心と保育・教育までを包括した人間の生命活動と生生活動の探求を深め、新たな今日的課題に応えられる広く複眼的な視野を持つ人材の養成を目指します。入試日程予定は以下の通りです。

課程	専攻	定員	入試種別	説明会	試験日	出願期間	合格発表	入学手続期間
修士	児童児童教育学	5	1期 一般・社会人特別 学内推薦 ※1	7/4・9/19 (水) (水)	10/29 (月)	10/16~10/22 (火) (月)	11/1 (木)	11/5~11/9 (月) (金)
	健康栄養学	5						
	造形学	4						
	英語・英語教育研究	4						
	臨床心理学	8						
博士後期	教育福祉学	4	2期 一般・社会人特別 学内推薦 ※1	12/5・1/16 (水) (水)	2/6 (水)	1/21~1/25 (月) (金)	2/8 (金)	2/12~2/15 (火) (金)
	人間生活学	3						

※1 人間生活学専攻では学内推薦入試は実施しません。臨床心理学専攻は学内選抜入試を8月上旬に1回実施する予定です。
※2 大学院の詳しい情報については、大学院HPで確認してください。(大学院事務室：03-3961-3473)

中学校・高等学校

高校ドリルチーム 2年連続の全国第3位

会「USAスピリットナショナルズインジャパン2012」に高校ドリルチーム部「INGERS」が出場しました。メンバー数、平均24名が最も見栄えするといわれていますが、「INGERS」は15名という少数精鋭ながら、地区大会では全地区大



期待高まる！
高校ドリルチーム部「INGERS」

会中の最高得点で全国大会へ出場。惜しくも優勝は逃しましたが、ソングリーダーイング・ポンダンス部門3位の座を守り、次年度優勝への期待がさらに高まる結果となりました。

よいよい交通マナーは、みんなの小さな心がけから

朝の通学ラッシュは、一日の最初の関門であり、最大の難所。通学路に使う各電車内の混雑はさることながら、大学最寄りのJR十条駅を降りてからの道路の混雑は尋常ではありません。特に、1限の開始15分前あたりは、学生たちは皆、遅刻しないようにと、必死で十条門へと先を急いでいます。



本学学生指導員

しかし、急いでいるのは、家政大の学生だけではありません。すべての人が通学・通学の時間帯は、目的の地いち早く着きたいと殺気立っています。また、学生たちにとっては通学路でしかありませんが、周辺に住む人々にとっては、生活の場。毎日のことだけに、学生たちの通学のマナーについて思うことも多いようです。



北区シルバー人材センター指導員

通学路は、公共の道路であり、家政大生の専用の歩行者天国ではありません。他の目的の地に向かう歩行者や自転車、車がスムーズに道を通行できるように、譲り合いの気持ちを持ちたいところです。思いがけず他の通行者に迷惑をかけ、注意を受けてしまった場合には、「すみません」とひとことあやまるなど最低限のマナーは必須。苦情の中には、「注意しても無視される」

「態度が悪い」といった指摘もあるようなので、誤解を招かない行動を心がけましょう。その他、「大きな声でのおしゃべりがうるさい」という苦情も少なくありません。一人ひとりの声は小さくても、たくさんの人の声になると、かなりの騒音になります。通学路沿いに住む人の気持ちになって、通学中は、トーンを落として話すか、できるだけおしゃべりは控えるようにしてください。



警備員

毎朝通学路では、本学学生指導員も積極的に指導を行っています。毎月1か月ごとに学内の掲示板で募集がかけられ、かなり人気があるようです。週に2回以上、1限がない時間割であれば、ぜひ、アルバイトにチャレンジしてみると、通学路に対する感じ方が変わるかもしれません。大3管士 佐竹未希

「ユースファイル」平成24年度新入生成績優秀者奨学金採用者表彰

5月9日、百周年記念館4階中会議室にて、新入生の成績優秀者11名に対し、奨学金採用者表彰が行われました。学長の挨拶の後、一人ひとりに目録が手渡され、その後、学科長・科長・クラス担任も交え、懇談会が行われました。



採用者を囲み
各学科毎に先生方と記念撮影

白藤プロジェクト 第5回「大学は美味しい!!」フェア(即売)に参加

5月30日〜6月5日、新宿高島屋の第5回「大学は美味しい!!」フェアに、第6期白藤プロジェクトリーダー 鮫島梨紗さん(大3管士)ら一同が、出店しました。日本各地の34大学が、それぞれの自信作を店頭に並べて紹介されました。白藤プロジェクトは、主



左側から片山教授、村上教授、小林教授、篠田教授

先生方には、学園に就任されて以来、教育上の功績が認められていました。平成23年3月31日退職された片山倫子教授、村上和雄教授、小林絢子教授、篠田左多江教授に「東京家政大学名誉教授」の称号が授与されました。



モンペ姿で
商品アピール!

要アレルゲンである「小麦・卵・乳」不使用の、米粉でふんわりと焼き上げた「米粉シュークリーム」。「米粉クッキー」などが、販売され大好評でした。フェア期間中は、本学の卒業生が沢山、来場され、参加した学生にとって一週間は学びの場となりました。



企画シンポジウムの様子

当日は2800名強の参加者が集まり、充実した議論が展開されました。本学教職員並びに学生たちのチームワークの良さや家政大学の素晴らしさに全国の先生方が感嘆されていました。

5月4日・5日の2日間、日本保育学会第65回大会が本学で開催されました。記念講演には本学特任教授の落合恵子先生をお迎えし、また、高萩市市長の草間吉夫氏の特別講演、キープ森のようちえんの小西貴士先生と本学ナースリールーム井桁容子主任との特別対談も開催しました。

幼稚園

5月3日、日本保育学会 第65回大会に先立ち、幼稚園 では公開保育を行いました。

新学期から一カ月、年少組は、少しずつ友達に興味を持ち始め、好きな遊びを見つけて安心して過ごしている様子、年中組は大勢のクラスになり、いろいろな友達と遊びながら友達関係を広げている様子、年長組は友達と一緒に自分たちの力で遊びを作っていく様子



「ごちそうつくろよ!」「わたしも!」
ままごと遊びをする年少組

など、子どもたちそれぞれが新しい環境に慣れ、園生活を楽しんでいる姿を見て頂くことができました。保育終了後の協議会では、たくさんのご意見を頂き、勉強になった一日でした。

節電継続にご協力を!

昨夏の、東日本大震災発 災に伴う電力需給ひっ迫を 受けて実施された電気の使 用制限に際しては、学生・ 生徒・教職員などの協力に より削減目標の15%を超え る節電が達成できました。

学園では使用制限終了後も、省エネによるCO2の削減となることから、継続して節電に取り組むことを決定し、昨冬も節電を実施

しました。今夏、政府は日本全体で電力需給ひっ迫が見込まれるとして、文部科学省から「今夏の電力需給対策について(通知)」として通知がありました。東京電力管内では7月2日(月)〜9月28日(金)の平日(8月13日(月)〜15日(水))を除く、9時から20時において「数値目標を伴わない節電」

に取り組む、とされています(詳細については文部科学省HPをご覧ください)。今夏は、日中の電力抑制のほかに、早朝、夜間においても支障がない範囲での節電要請となっています。これまで実施してきた節電を継続し、安全で効果的な節電ができますよう関係各位のご理解と、ご協力をお願い致します。



電気を消したい! 節電隊

昨年夏、電力使用制限を受けて、学生の自主的活動「電気を消したい!節電隊」が発足しました。使用していない教室や廊下の電源をオフにする活動を、サークル連合会や有志学生が行って来ました。今年も引き続き活動を継続していきますので、節電にご協力頂きますよう、お願い致します。